

認知症サポート医の養成及びサポート医フォローアップ研修の開催

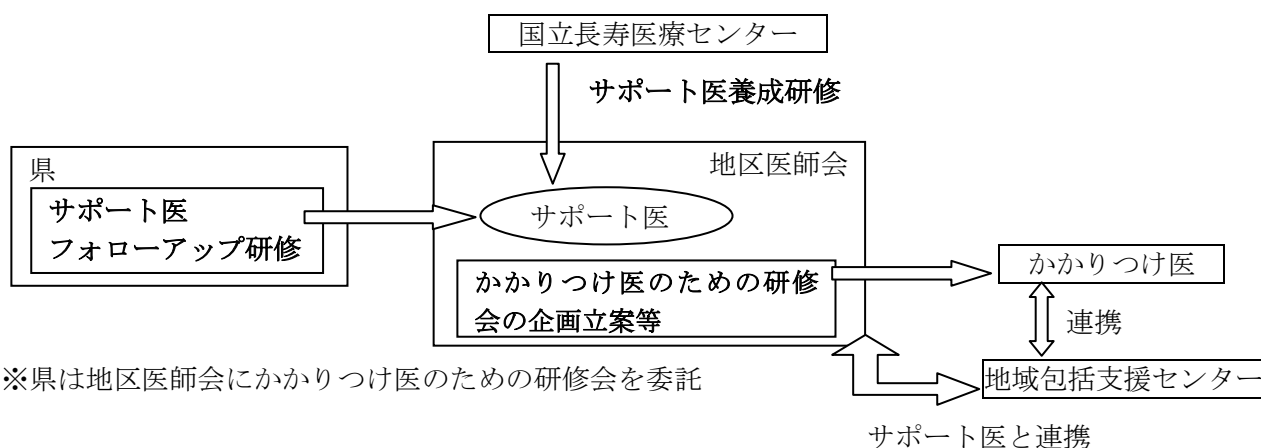
(1) サポート医とは

認知症の人の診断に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役として認知症サポート医を養成することにより、各地域において、認知症の発生初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を図る。

(2) サポート医養成方法

県の要請に基づき、各地区医師会が推薦した医師が、国立長寿医療センターが実施する2日間の研修を受講し、「認知症サポート医」として認定を受ける。またH23年度から、養成サポート医を対象にサポート医フォローアップ研修を開催している。平成24年度以降については、フォローアップ研修でのサポート医の意見も踏まえ、専門医以外の内科医等についても、認知症サポート医として養成し、医療面において地域での認知症対応力の向上を目指す。

【概念図】



県内のサポート医（平成27年度）

平成17年度	乾 俊彦（乾医院）、高田照男（西伯病院）
平成18年度	英 裕人（渡辺病院）
平成19年度	岸田英夫（渡辺病院）
平成21年度	田部慈子（養和病院）
平成22年度	廣江ゆう（養和病院）
平成23年度	杉山長毅（まさたみの郷）、藤田直樹（藤田医院）、藤井武親（藤井たけちか内科）、 下田 学（鳥取県立中央病院）、市場美帆（市場医院）
平成24年度	加藤達生（加藤医院）、岸本昌宏（岸本内科医院）、辻本 実（信生病院）、 岸 清志（にしまち幸苑診療所悠々）、門脇義郎（門脇内科医院）、 武地幹夫（江尾診療所）、小田 貢（真誠会セントラルクリニック）、 小川 寿（倉吉病院）
平成25年度	下田 優（下田神経内科クリニック）、懸樋英一（鳥取市立病院）、 濱崎尚文（智頭病院）、坂本恵理（垣田病院）、 森本益雄（森本外科・脳神経外科医院）、加藤明孝（米子病院）
平成26年度	寺岡 均（寺岡医院）、尾崎隆之（岩美病院）、竹田晴彦（三朝温泉病院）、 野口壮士（延寿の杜ホームクリニック）、新田辰雄（新田内科クリニック）、 野口善範（のぐち内科クリニック）、久野淑枝（大山口診療所）
平成27年度	橋本篤徳（橋本外科医院）、松岡孝至（松岡内科）、木村章彦（鹿野温泉病院） 山田武史（倉吉病院）、野口圭太郎（のぐち内科クリニック）、 芦田耕三（三朝温泉病院）、和田健二（鳥取大学医学部附属病院）、 高見 徹（日南病院）、櫃田 豊（博愛病院）、 廣田 裕（とみます外科プライマリーケアクリニック）